

## 「門戸開放」により地域の知を支援する 社会貢献・男女共同参加へ新しいアクション

### 科学者の卵養成講座

本学において講義・実習・実験を行い、未来の科学者を育てようという、独立行政法人科学技術振興機構「未来の科学者養成講座」の委託事業である「科学者の卵養成講座」。2009年～2011年の3年間で毎年定員100名の高校生を広く募集し、レポートや面接により基礎コース(定員70名)と、発展コース(定員30名)に分けて「科学を見る眼」を養う講座を実施した。「日常の不思議」を発見する力と、その不思議を解析する力を養うと同時に、内容をまとめて、プレゼンテーションできる能力、科学英語を読み解く力を育成する。2012年度は定員50名での次世代型「科学者の卵養成講座」として本学の理科系研究科が参画し、全面的に支援していく。



科学者の卵養成講座に参加した高校生達

### 「科学者の卵養成講座」の仙台二高生によるブレイクスルー 銀過酸化Ag<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が持つ高い抗菌活性の発見

「科学者の卵養成講座」の受講生である仙台第二高等学校・化学部(顧問 渡辺尚教諭)に所属する安東紗綾さん、日置友智さん、山田学倫さんが、本学生命科学研究科・東谷篤志教授と共同で、銀過酸化Ag<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が持つ高い抗菌活性を発見し、米科学専門誌Journal of Materials Scienceのオンライン版に掲載されたことで話題を呼んだ。

安東さんたちは、硝酸銀の電気分解により銀樹(陰極側)を作製する過程でできる黒い結晶が銀過酸化Ag<sub>2</sub>O<sub>3</sub>の結晶構造からなることを突き止めた。酸化銀Ag<sub>2</sub>Oと比べて、より強力な抗菌活性、高い酸化活性、電導性、さらに10倍以上の銀イオンを水に溶出する能力を有したAg<sub>2</sub>O<sub>3</sub>ガラスプレートであることを明らかにした。

### サイエンスカフェ in 福島「あなたにとってのスマートグリッドとは? ~太陽光発電や風力発電の電気を上手に送り届ける~」



スマートグリッドについて講義を行う齋藤教授

サイエンスの楽しさを知ってもらう場として、月一回仙台市のせんだいメディアテークで開催しているイベントで、毎回好評を博している「東北大学サイエンスカフェ」が、公益財団法人東北活性化研究センターとの共催で、2011年11月19日に福島県福島市のアクティブシニアセンター・アオウゼでスマートグリッドをテーマに開催された。講師は、大規模電力システムの安定度監視、分散型電源と電力ネットワークの協調制御に関する研究を行っている工学研究科齋藤浩海教授。消費者の多様な要求に合わせてきめ細かく送り届けることのできる未来の電気エネルギーシステム「スマートグリッド」の実現に向けた研究を紹介するとともに、私たちにとって望ましいスマートグリッドとは何かを一緒に考えた。

### サイエンス・エンジェルがロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 授賞

東北大学の「杜の都女子研究者ハードリング支援事業」の取り組みの一環である“次世代支援プログラム”により誕生した「サイエンス・エンジェル」が、2011年度 第6回「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 特別賞」を受賞した。

2011年7月12日には六本木ヒルズクラブで授賞式。7月13日には、内閣府岡島敦子男女共同参画局長、文部科学省板東久美子生涯学習政策局長に面会。「サイエンス・エンジェル制度は次世代支援モデルとして全国への展開が期待される」などの評価を受けた。



授賞式の様子

## 東北大関係者のコミュニティの輪が広がる 東北大学萩友会

東北大学萩友会は、創立100周年を迎えた2007年に次の100年の大学づくりの礎として発足した。本会は同窓生に加えて、在校生、教職員、在校生の家族等を会員とし、会員相互の親睦と交流、発展、「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成、強化などを目的とする。

### 東北大学萩友会会員が一体となる「東北大学コミュニティ」の形成

東北大学萩友会の会員(同窓生・在校生・現職の教職員・在校生の家族等)が親睦・交流を図るイベントとして、東北大学ホームカミングデー及び各地区での交流会を開催している。

また、萩友会年次別同窓会幹事は、10年後20年後の節目に年次別同窓会を開催する際に世話役を担うものである。これまでに第100～105期までの卒業生(各学部選出)を年次別同窓会幹事として信任している。



### 東北大学104周年ホームカミングデー

東北大学ホームカミングデーとは、同窓生が旧友や恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めるため、そして何より「母校に帰ってきていただきたい」という思いを込めた企画であり、2007年から毎年10月に開催している。

■日時/2011年10月8日(土)

■会場/百周年記念会館 川内萩ホール・川内体育館・川内の杜ダイニング

- 萩友会総会 ○在校生と卒業生との親睦会
- 仙台セミナー「医学と工学をむすぶ―超高齢化時代に向けて」
- 秋の文化フェスティバル ○ロビー・パフォーマンス
- 東北大学104周年ホームカミングデー記念コンサート



萩友会総会



記念コンサート



在校生と卒業生との親睦会

### 各地区での交流会

同窓生や在校生の保護者等を対象に2009年から各地区で交流会を開催し、本学の現況や最先端の研究成果等の紹介をしながら親睦・交流を深めることで、本学及び萩友会の活動への理解と関心を深め、当該地区における大規模な「東北大学コミュニティ」の醸成を図る。

- 2011年7月10日/東北大学104周年関東交流会【約400名が参加】
- 2011年11月12日/東北大学104周年北海道交流会【約120名が参加】
- 2012年2月11日/東北大学105周年関西交流会【約130名が参加】



講演会



懇親会

### 第2回萩友会プレミアム会員懇談会

2012年5月7日に本学の川内萩ホールで第2回プレミアム会員懇談会を開催した。第1部では、本学工学部建築学科を卒業されたシンガーソングライターの小田和正さんのコンサートが行われた。

第2部の懇親会では、まず里見萩友会長の挨拶があり、続いて学友会応援団のリードのもと、学生歌を150人あまりの参加者が一体となって斉唱。世代の垣根を越えた親睦・交流を行った。



第1部小田和正コンサート